

2025年12月期第2四半期
決算短信補足資料



アトラグループ株式会社

証券コード：6029（東証スタンダード）

会社概要

会社概要



Ar t 技
Tr additional 伝統の
A ttractive 魅力的な

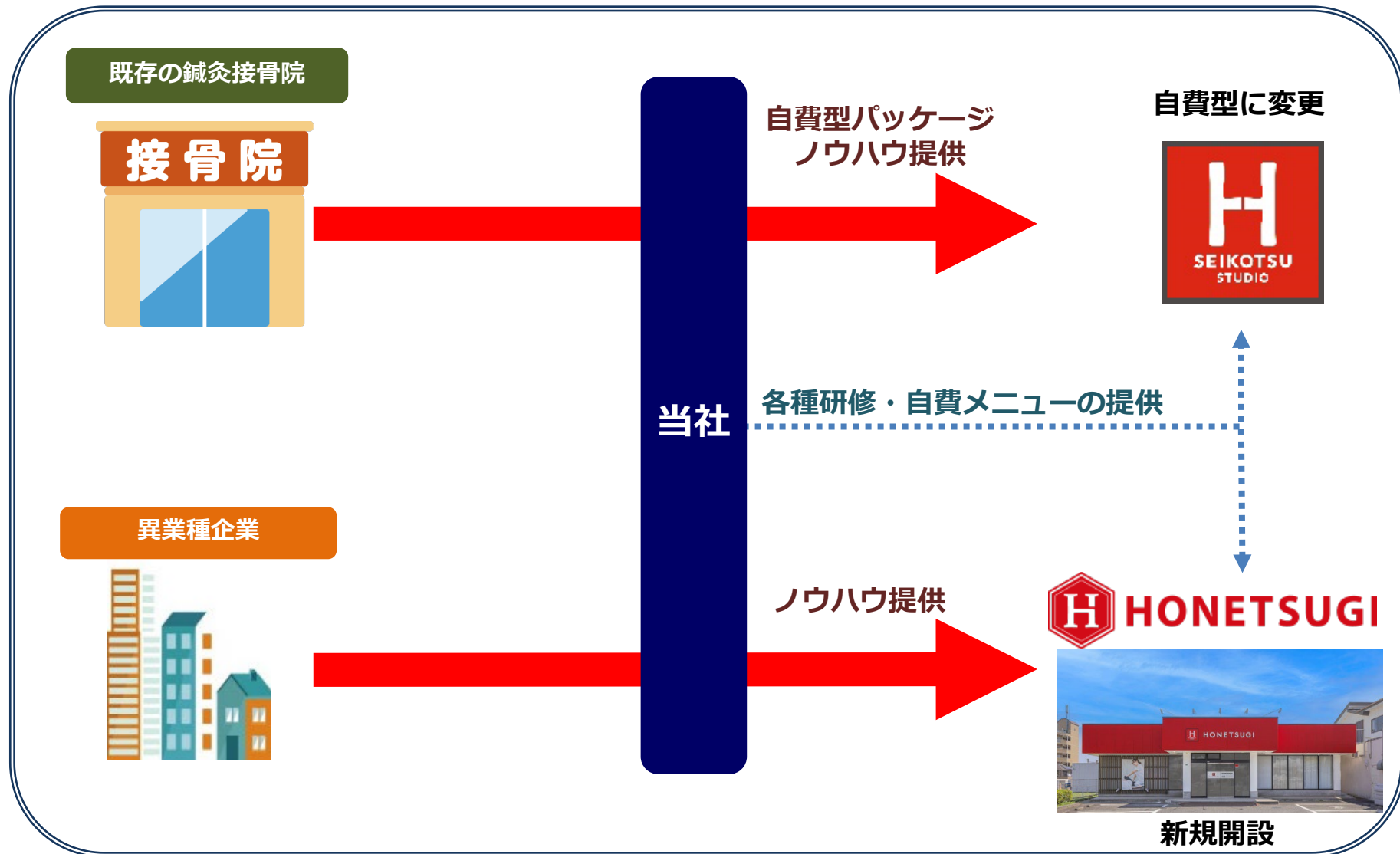
会社名	アトラグループ株式会社（Artra Group Corporation）
本社	大阪府大阪市西区立売堀4丁目6番9号
設立	2005年1月18日
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：6029）
代表者	代表取締役会長兼社長 久世 博之（ひうせ ひろゆき）
従業員数	71名（2025年6月末）
所在地	東京事務所 仙台事務所 福岡事務所
グループ会社	アトラファイナンス株式会社 アトラケア株式会社 アトラプランニング株式会社 株式会社ハッピーライフ 株式会社ペリカン

沿革

2009年	アトラ請求サービス開始
	アトラアカデミー運営開始
2010年	ほねつぎチェーン 1 号店開設
	H O N E Y - S T Y L E 運営開始
2012年	ほねつぎデイサービス 1 号店開設
2013年	アトラストア運営開始
2014年	東京証券取引所 マザーズ上場
2015年	A-COMSファイナンスサービス開始
2016年	東京証券取引所 市場第一部へ市場変更
2018年	子会社設立に伴い連結決算開始
2019年	業務用水素吸入器 コアアップ販売開始
2021年	アトラグループ株式会社へ商号変更
	株式会社ペリカンを買収
2022年	東京証券取引所 スタンダード市場へ上場
2023年	健康経営優良法人2023 ブライト500に認定
2024年	マルチモーダルA I アトラゲージ販売開始
	自動精算機 A-COMSレジ販売開始

1.鍼灸接骨院支援事業

-ほねつぎチェーン事業-



-アトラアカデミー事業-

アトラアカデミーWEB会員（会員数 23,031名※前年同月22,494名）

アトライノベーションラボ
2025.3.15開催風景



M.Iインパクト



トムソン
テーブル



楽トレ



消耗品



水素吸入



請求ソフト



請求代行



予約管理

-機材販売事業-

オリジナル商品 Co.UP (コアップ)

生活習慣病の原因となる悪玉活性酸素を除去する、水素ガス吸入器。
水素を体内に取り入れ、悪玉活性酸素と反応して水に替える新しい健康のカタチ。
クリニックやサロンなど幅広い業界で活躍中。



オリジナル商品

ARTRA GAUGE (アトラゲージ)

一瞬の検査により神経を可視化しAIとの施術計画を作成。
測定結果をAIが自動解説し、施術者のインサイトの盛り込みにより施術計画の基となる所見を提案。

マルチモーダルAIによる独自の施術指針を立案。



オリジナル商品 A-COMSレジ (アイコムスレジ)

2024年10月開始の療養費施術明細書交付義務化を解決。人手不足・手作業によるリスクを大幅に軽減。

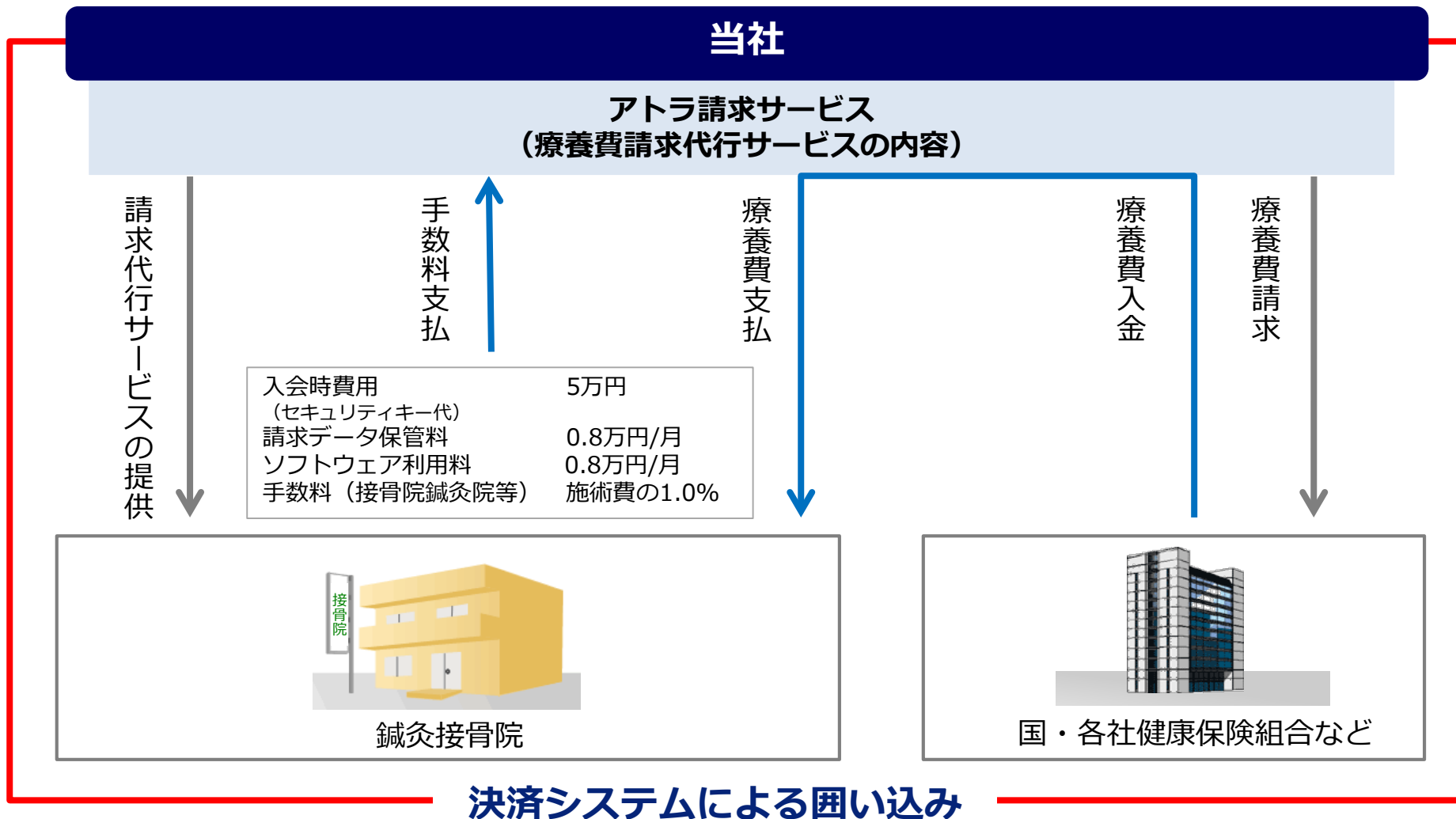
A-COMSシステム連動で業務効率が向上。



-アトラ請求サービス事業-

療養費請求システム&院内管理システム A-COMS（エイコムス）

クラウド型システムA-COMSの活用で事務負担とコスト負担を軽減



-HONEY-STYLE事業-

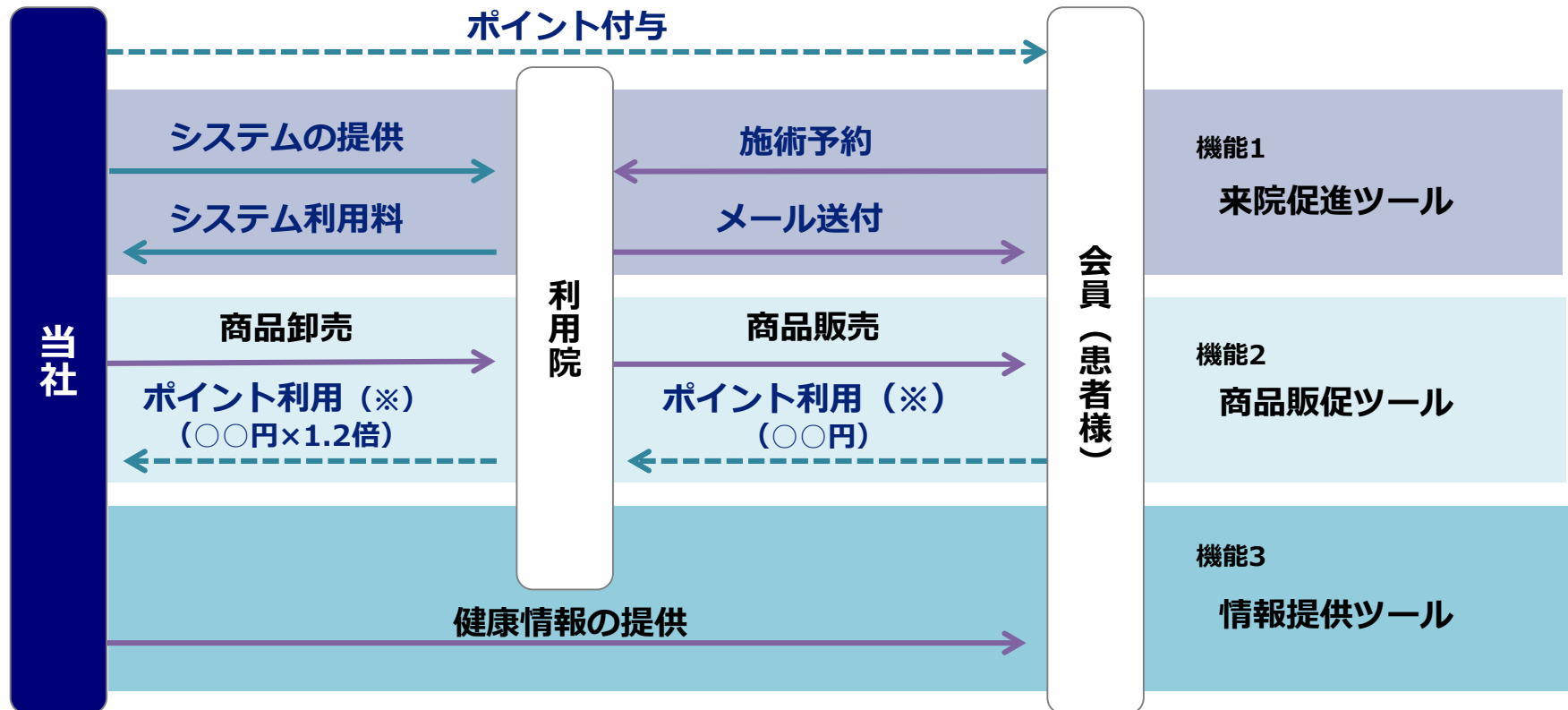
モバイル集客予約システム



女性に選ばれる接骨院になれる

HONEY-STYLE

女性集客に繋がるヒントが見つかる！



-ほねつぎデイサービス事業-

利用者の身体機能の回復向上を目的とした、
「痛みの緩和に特化」したデイサービスです。
 柔道整復師が活躍できる新たなステージとして
 接骨院運営法人の加盟開発を促進。



利用者の介護度の軽減を目指し、柔道整復師
 と介護職員が連携して、当社独自の機能訓練
 プログラムのサービス提供を行い**「若返り」**
 を目指します。



腰椎圧迫骨折_歩行改善
 「歩行器を無くしたい。
 家庭菜園を行いたい」→
 夢が実現できました！！

<https://youtu.be/iEdAsued2C4?si=5Q2B-6IKC8jPjZqG>

脊柱管狭窄症_歩行改善
 「30年続けてきた旗持を
 またできるようになりた
 い」→ 夢が実現できまし
 た！！

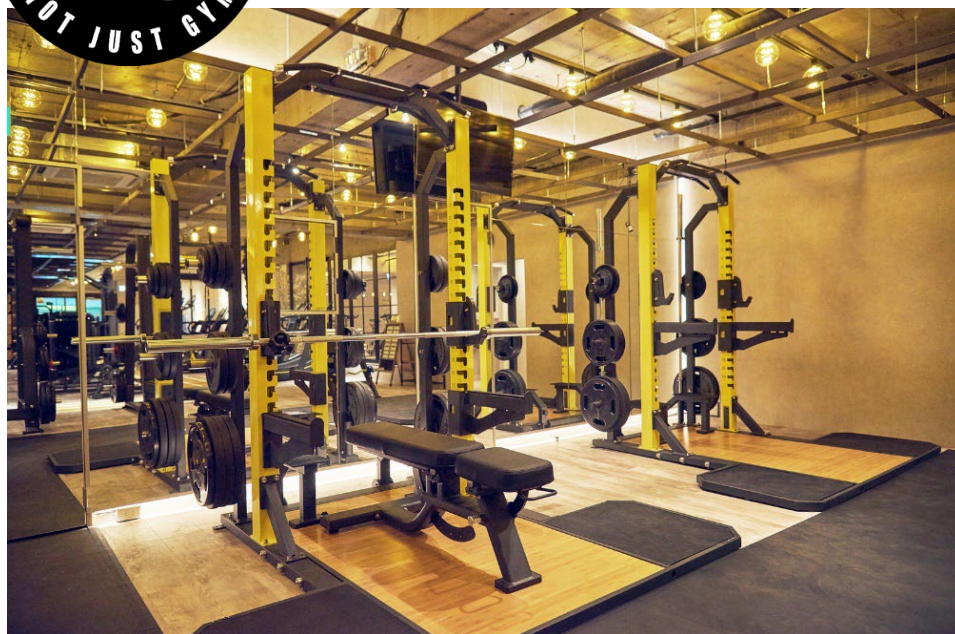


<https://youtu.be/dndcu2LxLzY?si=e8VoxzyHk6L9g5Ni>

-フィットネスジム事業-

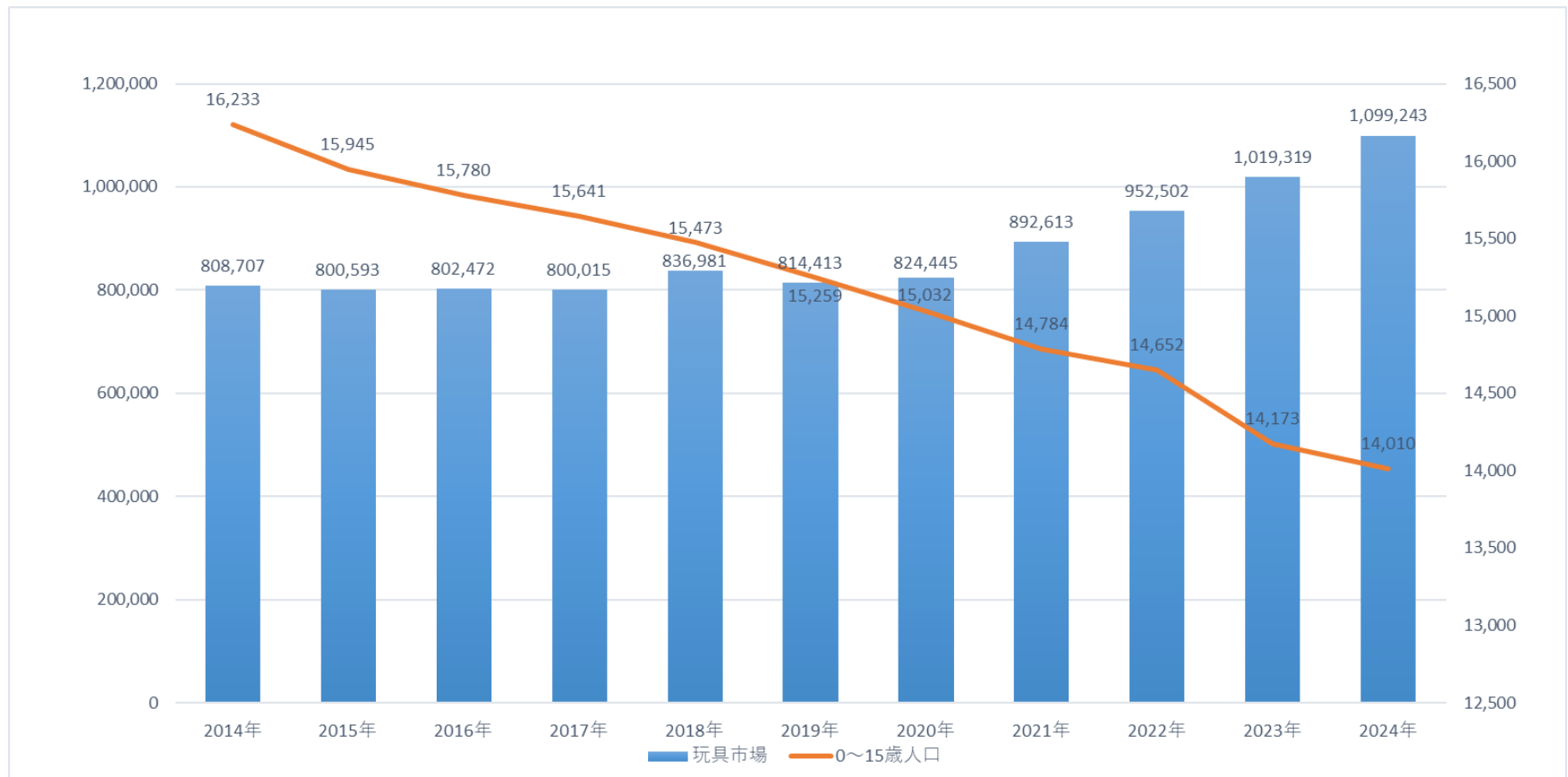
様々な種類のマシンが24時間365日使える、フィットネスクラブ「ワンサードフィットネス」のフランチャイズ加盟店の拡大を図ります。

接骨院事業との相乗効果が期待できる新規事業として加盟店開発を促進。



2.玩具販売事業

2024年度の日本の玩具市場規模が2年連続の1兆円超え 前年度比107.8%の1兆992億円で過去最高を更新



出所：一般社団法人日本玩具協会

当社グループの事業 ペリカン

近畿、中国、四国、九州地方に店舗を展開。
鍼灸接骨院支援事業で培ったリアル店舗の経営指導のノウハウを活かし、
生産性の向上を図り、店舗拡大を目指します。



**2 0 2 5年12月期
第 2 四半期
実績**

売上高（連結）

単位：千円		2024年12月期 第2四半期	2025年12月期 第2四半期	前期比
鍼灸接骨院 支援事業	ほねつぎチェーン	240,761	258,110	107.2%
	機材、消耗品販売	323,173	317,111	98.1%
	アトラ請求サービス	265,292	299,466	112.9%
	HONEY-STYLE	38,319	33,466	87.3%
	介護支援	261,239	207,548	79.4%
	その他	78,817	33,147	42.1%
小計		1,207,604	1,148,851	95.1%
玩具販売事業		844,279	734,551	87.0%
計		2,051,883	1,883,402	91.8%

損益計算書（連結）当初予算比

アトラ請求サービス会員の入会及び他社システム利用院の乗換え契約の獲得が好調に推移。A-COMSシステムと連携した新オプションサービスの稼働による継続課金売上の構築に注力。オリジナル開発した新商品の営業強化による販売数の増加により利益面では大幅な増益。

単位：千円	2025年第2四半期 当初予算	2025年第2四半期 実績	当初予算比
売上高	1,800,000	1,883,402	104.6%
営業利益	△73,000	25,682	—
経常利益	△76,000	30,294	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△86,000	115,569	—
1株当たり当期純利益	△8.38円	11.26円	—

損益計算書（連結）前年同期比

単位：千円	2024年12月期 第2四半期	2025年12月期 第2四半期	前期比
売上高	2,051,883	1,883,402	91.8%
売上総利益	629,892	644,560	102.3%
販管費及び一般管理費	682,794	618,877	90.6%
営業利益	△52,902	25,682	—
経常利益	△55,166	30,294	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△63,638	115,569	—
1株当たり当期純利益	△6.25円	11.26円	—

貸借対照表（連結）

単位：千円	2024年12月期		2025年12月期		増減
	期末	構成比	第2四半期	構成比	
流動資産	2,734,438	66.5%	2,493,648	65.4%	△ 240,790
固定資産	1,379,822	33.5%	1,318,526	34.6%	△ 61,296
資産合計	4,114,261	100.0%	3,812,174	100.0%	△ 302,087
流動負債	1,460,684	35.5%	1,136,087	29.8%	△ 324,597
固定負債	1,217,000	29.6%	1,126,116	29.5%	△ 90,884
負債合計	2,677,684	65.1%	2,262,203	59.3%	△ 415,481
純資産合計	1,436,577	34.9%	1,549,971	40.7%	113,394
負債・純資産合計	4,114,261	100.0%	3,812,174	100.0%	△ 302,087
1株当たり純資産	139.83円	—	150.87円	—	—
自己資本比率	34.9%	—	40.6%	—	—

2025年12月期 計画

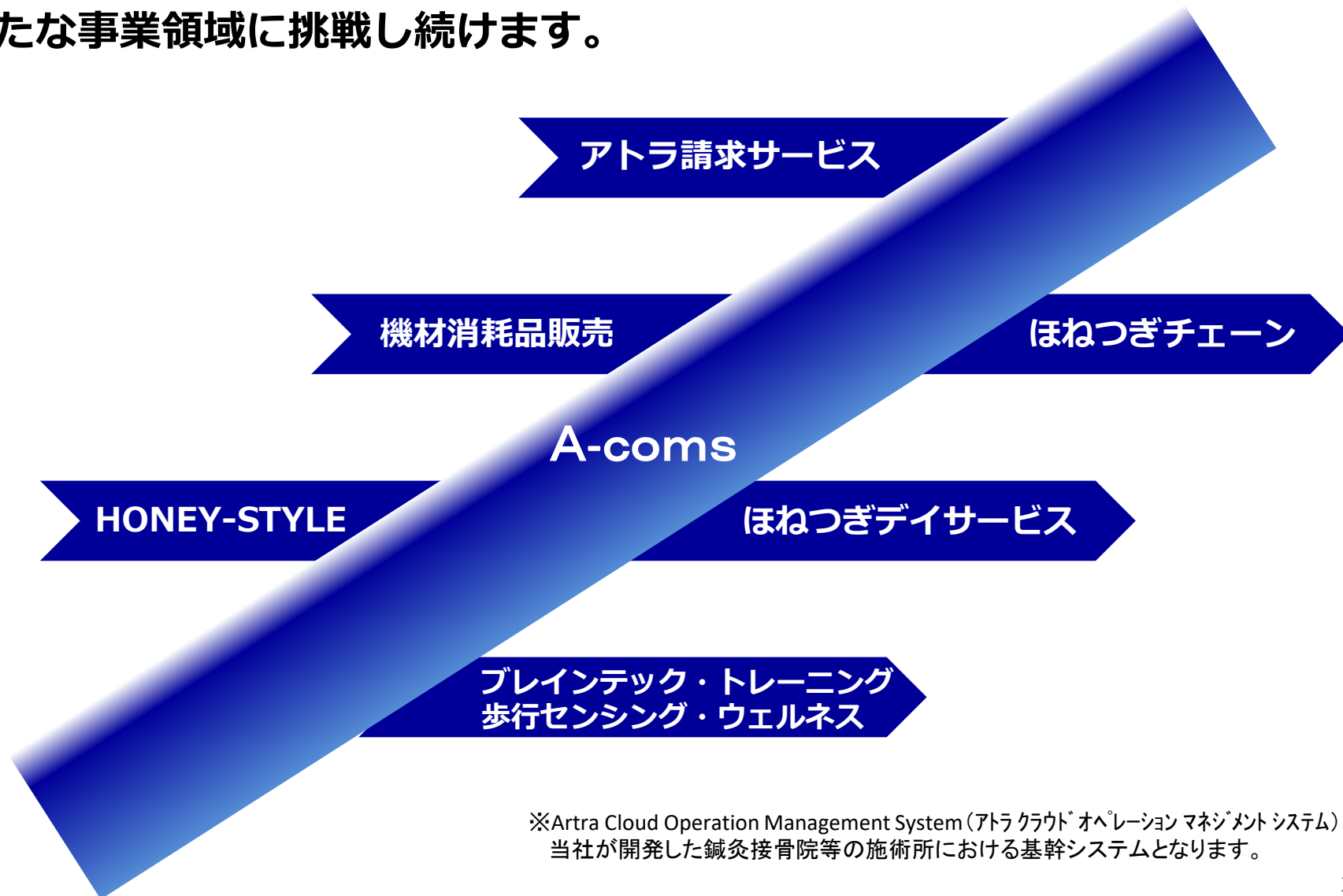
2025年12月期 通期計画（連結）

玩具事業の売上減少を鍼灸接骨院支援事業で吸収、通期見通しを**上方修正**。
オリジナル新商品売上比率の向上により粗利益を改善、**営業利益の大幅な増加**。

単位：千円	2024年12月期 通期実績	2025年12月期		
		2/14期初 通期予想	7/15修正 通期予想	増減率
売上高	4,234,434	3,800,000	3,800,000	± 0
営業利益	5,683	55,000	90,000	+ 63 %
経常利益	988	50,000	85,000	+ 70 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	△36,736	26,000	157,000	+ 503 %
1株当たり当期純利益	△3.59円	2.56円	15.29円	－

今後の成長について

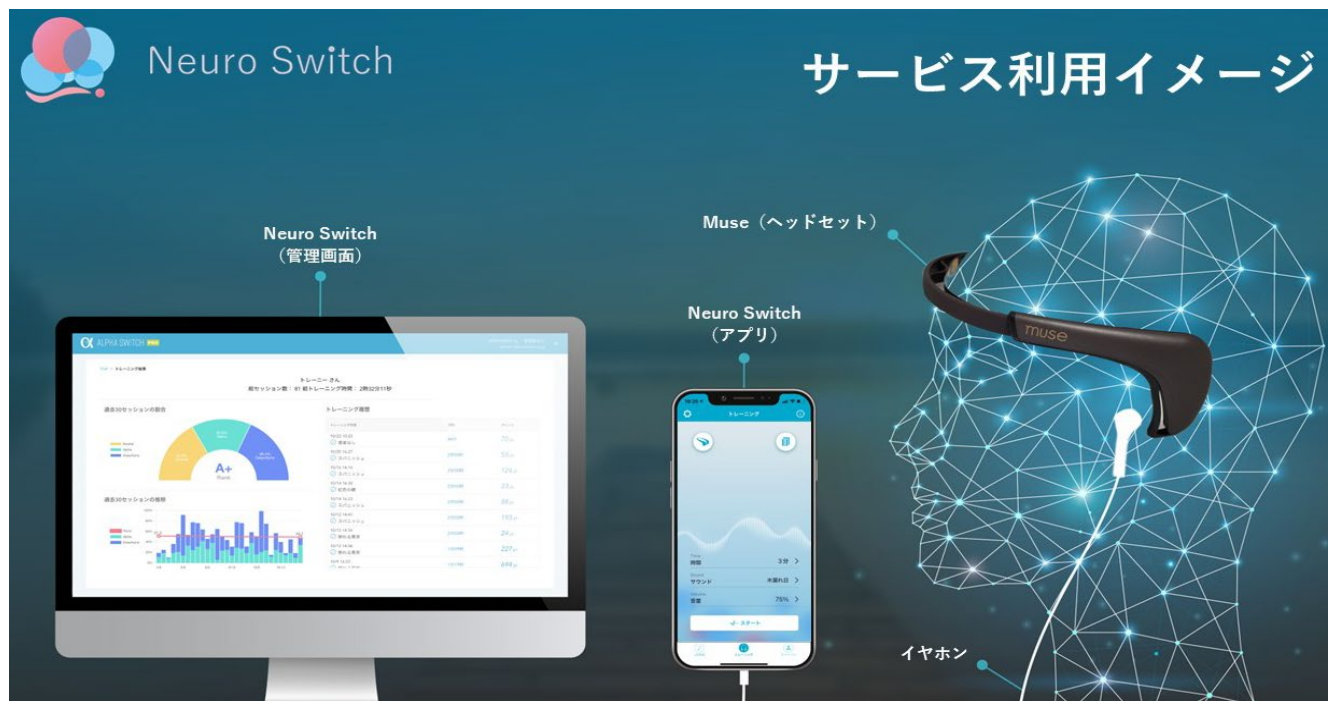
当社のコア事業である**A-coms**の**インフラ**を拡張し続けながら、
新たな事業領域に挑戦し続けます。



※Artra Cloud Operation Management System (アトラクラウド オペレーション マネジメント システム)
当社が開発した鍼灸接骨院等の施術所における基幹システムとなります。

ブレインテックを活用した施術サービスの提供開始

ブレインテック関連事業を推進している株式会社メディアシークと基本合意書を締結し、脳波を活用したブレインテックトレーニングサービスの提供を開始しました。当社が療養費請求代行を行うアトラ請求サービスの会員に提供している院内管理システム「A-COMS」と、メディアシークが提供するブレインテックトレーニングサービスをシステム連携させ、脳のデータが常に確認できることで施術後の患者の状態をより多面的に評価することを可能にし、痛みの緩和を目的とした新しい施術サービスの提供を開始しました。



Media Seek

×

ArTrA
group

歩行センシング・ウェルネスソリューションを活用した 新たな施術サービスの提供を開始

院内管理システム「A-COMS」を通じて、日本電気株式会社（NEC）と歩行センシング・ウェルネスソリューションを活用した新たな施術サービスを開始いたしました。歩行センシング・ウェルネスソリューションは、インソールにセンサを装着し履く靴にセットするだけで、専門機器と同等の精度で歩行の質を計測・データ化し、歩き方の特徴や脚・足の状態の見える化を実現します。当社では、データを活用した施術内容の提案や、施術後の効果の可視化等による、効率的で質の高い施術を実現する新たなメニューを、施術所を通じて患者へ提供いたします。



Orchestrating a brighter world

NEC

×

ArTrA
group

成長戦略④ 玩具販売事業

玩具業界での長年にわたる信用と実績を生かし、市場の成長に合わせて事業規模の拡大を目指します。

ペリカン

店舗運営のノウハウを生かし業務の効率化を進める。
不採算店の閉店を実施し既存店の底上げに注力する。
売れ筋商品の確保に注力し売上収益を確保する。
体験型の売場づくりや参加型イベントの開催に取り組む。



当社グループの強みについて

当社グループは、鍼灸接骨院の運営で培った豊富な経験を活かし、ノウハウに裏打ちされた各種ソリューションを開発し、提供し続けます。



鍼灸接骨院における全ての課題に対応

ほねつぎチェーン、アトラアカデミー、機材販売、アトラ請求サービス、A-COMSファイナンスサービス、HONEY-STYLE、アトラストア、ほねつぎデイサービス、その他今後も新たな課題に対し、ソリューションの開発に注力



自費施術メニューの開発

経験豊富な多数の国家資格者を有する当社だからこそその強みとして、
自費施術メニューの開発から販売、過度に療養費に依存しない鍼灸接骨院の構築を支援
動画の配信 ⇒ セミナーの開催 ⇒ 自費施術用機材の開発・販売



全国展開

アトラ請求サービスは全都道府県に対応（全都道府県の会員にサービスを提供）
ほねつぎチェーン・ほねつぎデイサービスを全国に展開（北海道、東北、関東、中部、近畿
中国、四国、九州全てに展開）

当社グループの強みについて

介護市場及び玩具販売市場での業容拡大を目指します。
今後もM&A戦略等により事業規模全体の拡大を目指します。



痛み緩和や機能改善プログラムの開発

通所介護事業の、ほねつぎデイサービスにおいて、鍼灸接骨院で培ったノウハウを活かし、柔道整復師による機能改善プログラムや、転倒を未然に防ぐためのプログラムを提供。長年に渡り市場参入してきた介護市場において、ほねつぎデイサービスの出店加速を図ります。

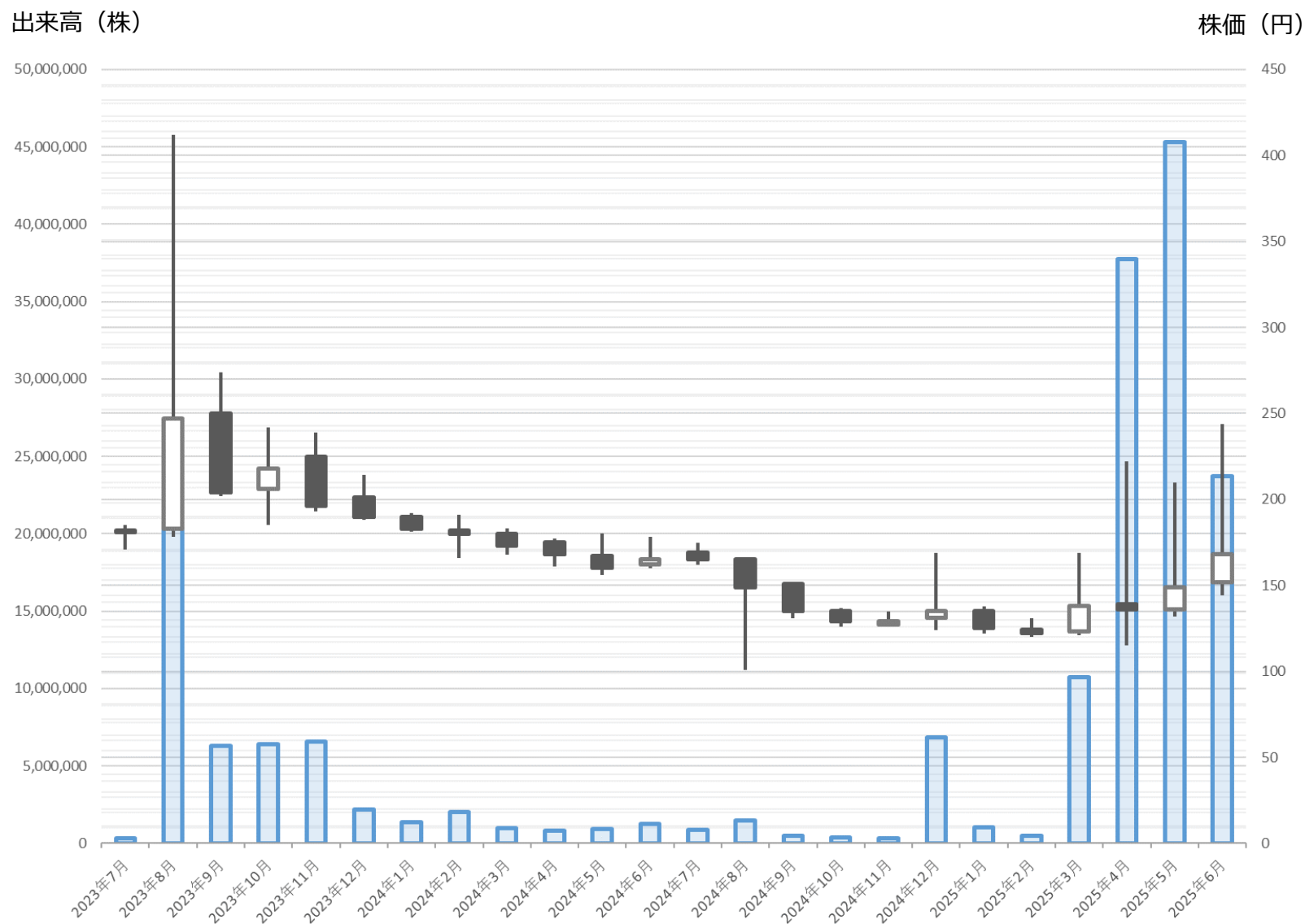


リアル店舗におけるオペレーション、経営指導

創業50年と長年にわたり積み上げてきた信用と実績を活かし、玩具市場の市場規模拡大にあわせて成長の加速を目指します。
また、鍼灸接骨院で培った店舗運営ノウハウを活用し、体験型の売場づくりや、参加型イベントなどの開催に取り組みます。

当社株式の状況

株式の情報 株価／出来高の推移





アトラグループ株式会社

東証スタンダード 6029

<https://www.artra-group.co.jp/>

大阪市西区立売堀4丁目6番9号

免責事項

本資料に掲載されている計画、将来における予想などは作成時点で入手可能な情報に基づく見通しであり、リスク及び不確実性が含まれております。実際の業績は経営環境の変動などによりこれらと異なる可能性があります。

また、本資料に掲載されている情報は公開情報から引用したものがありますが、その情報の正確性について保証するものではありません。